

基本情報

研修名

課題解決のためのデータ分析入門

所要時間

1日（6時間）

受講対象者

若手・中堅社員、Microsoft Excelが使える方（統計の知識不要）

その他

受講者の年代やレベルに対応した内容でカスタマイズ可能

講座の特徴

- 普段の業務で何かしらの数字（データ）を扱っているものの、そこから分析をして意味のある情報を取り出すところには至っていないという課題意識をお持ちの方には、特にピッタリのセミナーです。
- データ分析の手法をアカデミックに学び、データサイエンティストを養成するのではなく、「明日から実務で使える」応用力とデータの目の付け所を一般のビジネスパーソン自身が学ぶところにあります。

講師紹介

柏木 吉基 氏

データ&ストーリーLLC代表
多摩大学大学院MBA 客員教授
横浜国立大学 非常勤講師
元 日産自動車 ビジネス改革チームマネージャ



慶応義塾大学工学部卒業後、日立製作所入社。米ゴイズエタ・ビジネススクールでMBA（経営学修士）取得。2004年に日産自動車に入社。海外マーケティング&セールス部門、組織開発部ビジネス改革チームマネージャ等を歴任。データを駆使して、「新規ビジネス戦略策定」や「グローバルでの業務プロセスの分析・評価・改善」など多数のプロジェクトをリード。

これらの経験と実績を生かし、2014年10月に「仕事の成果」に直結する実務データ分析トレーナーとして独立。実務家ならではの実践的で分かりやすい講義に定評がある。

『日産で学んだ 世界で活躍するためのデータ分析の教科書』、『データ競争力を上げる上司、下げる上司』（日経BP）ほか著作も多数。日経情報ストラテジーで「間違いだらけのデータ分析」

（2014年4月号～2015年9月号連載）、「マネジャーのためのデータリテラシー講座」（2015年10月号～2016年9月号連載）、「あまのじゃくなロジカルシンキング」（2016年10月号～2017年8月号）、ITpro（現・日経クロステック）で「データ活用に必須の課題分解術」（2017年9月～2018年2月）を執筆。

時間	内容
10:00～ 12:00	1. データ分析・統計を実務で使うってどういうこと？ イントロダクション 実務で「データ分析」を活かすために必要な3つの箱 2. 「データ整理」から「データ分析」へ 「データ整理」と「データ分析」の違い 「データ分析」に必要な3つの問い 3. 仮説アプローチ いつ、どんな仮説が必要なのか 仮説を持つことのメリットとリスク
13:00～ 17:00	4. 課題ポイントを特定する データを分解する軸 データを多面的に把握・比較する 5. 2つのデータから意味を見出す（相関） 課題の「要因」を探り出す手法とは？ 6. データの関係を数値で示す（回帰分析） 分析の結果を計画や予測など具体的な数値に落とし込む 7. Q&Aほか

※午前の講義はeラーニングでも提供が可能です。

受講者の声

- ・非常にわかりやすく、限られた時間で分析を求められる実務に適した内容だった。
- ・これまでうまく理解できなかった相関分析や回帰分析がよく理解でき実務にも活かせそうです。
- ・知識としては知っていても、業務の中での生かし方がわからなかったが、本セミナーで実務にあった形で体験できたので使い方が理解できた。
- ・実例に沿った分析をわかりやすく教えていただけて大変参考になりました。